

A. O. 社会システム学科・3年次

I. 留学レポート

①協定留学を目指した理由

大学に入学する前から学生時代のために留学はしようと決めておりました。理由は留学によって様々な事を学べるからです。もちろん英語も上達するし、実際に外国に住んで様々な国の人たちと交流することによって客観的に物事が見られるようになると思ったからです。

②留学を目指してから出願までの英語学習方法

私は大学の中にある ESSR の教材を使って早い段階から IELTS の模擬試験をやっておりました。もともと IELTS に関する教材の種類が少なく、特に自分で買わなくても ESSR に行けば全て揃っているのととても助かります。単語帳は購入しました。

③留学決定から出発までの準備期間

留学決定からはお金を貯めるためにアルバイトに集中しており、あまり勉強はできなかつたです。留学が決定してからはイギリス英語に慣れるためにイギリスのドラマなどを見て慣れておく事をお勧めします。ビザは6ヶ月未満でしたので手続きなしで行けました。

④現地到着後

ヒースロ空港から飛行機でリーズ空港に行き、そこからはタクシーで自分の寮に行きました。30ポンドあれば寮には余裕で着くと思います。バスでしたら4ポンド以内で行けました。帰国する時はバスでリーズ空港までいきました。マンチェスター空港から電車でリーズ駅まで来た日本人もいます。マンチェスター駅からリーズ駅までは乗り換え不要で料金も20ポンド以内で行けたと思います。

⑤語学研修期間

◆語学研修先の施設・環境について

語学研修は受けていないのでわかりません。

⑥正規科目履修期間

◆大学の施設・環境について

大学の敷地は本当に大きくて、最初の頃は授業の教室を探すのに苦労しました。図書館が4つもあってとても便利でした。ジムもとても大きく綺麗でプールもありました。大学内は夜遅くなっても学生がたくさんいるので安全でした。

◆履修科目

私は3つのモジュールを取っていました。

・ Second Language Acquisition and Learning

言語学の授業です。もともと言語学にすごい興味があったのでとりました。ただ言語学の基礎知識がなかったので専門用語などを覚えるのには苦労しました。結構本格的な内容で

第2 言語を習得するメカニズム的なことも学べておもしろかったです。ただ復習、予習をしないと授業にはついていけません。

・ **Transport Economics**

流通学の授業で、この授業に関しては2、3年生向けの授業でした。予習、復習頑張っていたのですが全く理解できませんでした。笑

・ **Managing Events and Festivals**

大小を問わず様々なイベントを運営するために大切なことを学びました。先生もユニークな方で授業がとてもおもしろかったです。経営学の授業ではなかったのですが、内容はマーケティングよりの内容でした。専門的なことも学べて一番楽しい授業でした。

◆**授業、レポート、定期試験**

私のとった授業はすべて人数が40人以下だったので、ディスカッションがよくありました。授業の復習はもちろん、予習をしていないとディスカッションの会話にはついていけません。日本と違い、授業中で教授が説明中でも質問や疑問点があると割り込んで教授に質問するくらい生徒一人一人やる気がありました。Second Language Acquisition and Learningはessayが100%ですが、出席を毎授業とります。Transport Economicsはessayが25%、プレゼンが8%、残りが期末試験です。出席はたまにとります。Managing Events and Festivalsはessayが50%、プレゼンが50%でした。この授業も毎回出席とります。

⑦**クラブ、課外活動、ボランティア活動**

・ **Japanese Society**

リーズ大学の日本語学部にも所属している人たちと日本に興味がある人たちが集まったサークルです。大学の近くのパブに集まってお酒を飲みながらおしゃべりを楽しむ機会が毎週月曜日にあったので、ほぼ毎回行きました。スピーキングの練習になります。

・ **Horse Riding**

とても興味があったので入ってみました。会費が他のサークルより高めでしたが、貴重な経験なので入ってよかったです。調教師の人が丁寧に教えてくれるので初心者でも問題ないです。練習場所がリーズからバスと電車で1時間以上かかるので少し不便でしたが、たまに田舎な街に行くのも気分転換としてはよかったです。

サークルに入った方が現地の人と友達になりやすいです。

⑧**現地での住まい(語学研修期間、正規科目履修期間)について**

私の寮はLiberty Dockという自炊制のところから徒歩で50分、バスで20分の寮に住んでいました。大学の寮の中では遠い方です。寮のシャワーが2回故障し水が出ない時があり、修理を頼んでもなかなか動いてくれないのでそれには困りました。シャワーの故障以外は何も問題なかったです。

⑨**長期休暇の過ごし方**

クリスマス休暇はドイツとイギリス国内旅行に行きました。クリスマス休暇はヨーロッパの人は一時帰国し、イギリス人は実家に帰省する人が多いです。周りの日本人もほとんどの人がヨーロッパ旅行していました。

⑩留学期間中の就職活動の取り組み

何もしていません。貴重な時間を就職活動に当てるのはもったいないです。

II. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

一番楽しかった事はフラットメイトと一緒によく国内旅行した事です。フラットメイトには本当に恵まれていて、よくみんなでご飯食べたり、リビングで映画を見たりプライベートではほとんど一緒にいました。そんな何気ない日常生活が大切な思い出です。

② 留学中でつらかったこと、最も苦勞したこと

留学が始まってすぐに風邪をひいてしまい、それが長引いたのが辛かったです。また病院のシステムも日本と全然違うので苦勞しました。

③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

大学の中にパブがあって週末はクラブになっているのには驚きました。

III. 留学希望者へのアドバイス

① 留学先大学の良かった点、悪かった点

リーズ大学は本当に留学生が多いのでイギリス人だけでなくいろんな国の人と友達になれます。また大学内のサークルも300個以上あるのできっと自分にあったサークルが見つけれられると思います。悪かった点は本当にはないです。

② 日本から持って行って、特に役に立ったもの

パソコンは絶対に持って行った方がいいです。あとはリーズで全て手に入ります。アジアマーケットもあるので調味料や日本米も買えます。とても都会なので生活には全く困りません。

③ 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

スピーキングは期待するほど伸びませんでした。正規の授業のおかげで自分の苦手なリーディングとライティングがとても伸びました。

④ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

語学学校に行かず直接正規授業を受けようと思っている方はIELTSのスコアは7ぐらい取れる余裕をもって行った方がいいです。自分の経験からスコア6では正規の授業についていくのはきついと思います。

IV. 将来の目標

① 今後の進路、将来の目標・夢

仕事で英語を使う職に就けたら嬉しいです。

V. 写真



寮の中にあるパブでテーブルフットボールをしている写真です。他にもビリヤード、卓球やダーツもありました。



フラットメイトとケンブリッジへ旅行に行った時の写真です。ほぼ毎週みんなと一緒に国内旅行に行っていました。